

平成 22 年 12 月 24 日
金 融 庁
日 本 銀 行

平成 22 年度金融知識普及功績者表彰について

本日、金融庁と日本銀行では、「平成 22 年度金融知識普及功績者」として、個人の部 11 名、団体の部 3 団体を表彰することとしました。

金融知識普及功績者表彰は、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して、その功績を顕彰するものです。

表彰の対象となる者及び団体には、金融担当大臣及び日本銀行総裁の連名による表彰状等を授与します。表彰状等の伝達は、後日、全国の都府県等において行います。

お問い合わせ先

金融庁 Tel : 03-3506-6000(代表)

総務企画局政策課

(内線 3710、2793)

日本銀行 Tel : 03-3279-1111(代表)

情報サービス局

(内線 4613)

平成22年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

1. 鶴谷 みつ子
(青森県)
・消費生活相談員としての経験を活かし、地域における金融分野の講演活動や、マスメディアへの出演、新聞等への連載など情報発信を積極的に行っており、広く金融知識の普及に貢献。
2. 菅 美千世
(秋田県)
・消費生活相談員としての経験を活かし、地域における金融分野の講演活動や、県外を含む消費生活相談員への指導など、広く金融知識の普及に貢献。
3. 伊藤 晴美
(秋田県)
・学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象とした講演会等の講演活動を積極的に行うなど、地域における金融知識の普及に貢献。
4. 佐藤 悦子
(山梨県)
・元教員としての経験を活かし、学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象に、自身が作成した資料を用いる等、工夫を凝らした講演を積極的に行うほか、教育現場への指導・助言を行うなど、金融知識の普及に貢献。
5. 小金 玲子
(長野県)
・長年消費者行政に携わってきた元県庁職員としての経験を活かし、学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象に自身が作成した資料を用いる等、工夫を凝らした講演を行うなど、広く金融知識の普及に貢献。
6. 栗本 大介
(滋賀県)
・FPとしての経験を活かし、学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象とした講演活動や教育現場への指導・助言を行うほか、マスメディアへの出演などを通じて広く金融知識の普及に貢献。
7. 平島 道子
(福岡県)
・元教員としての経験を活かし、学生や教職員、一般市民等、幅広い年齢層を対象に自身が作成した資料を用いる等、工夫を凝らした講演を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
8. 秋月 孝之助
(長崎県)
・元金融機関職員としての経験を活かし、金融分野を中心とした講演活動を離島を含めた県内全域で積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
9. 岡本 啓子
(長崎県)
・学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象に自身が作成した資料を用いる等、工夫を凝らした講演を積極的に行うほか、親子向け金融教育教材の執筆活動などを通じて広く金融知識の普及に貢献。
10. 小川 洋一
(宮崎県)
・FPとしての経験を活かし、年金問題等の分野を中心に、自身が作成した資料を用いる等、工夫を凝らした講演を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
11. 椿 久美子
(熊本県)
・FPとしての経験を活かし、学生、一般市民等、幅広い年齢層を対象に自身が作成した資料を用い、工夫を凝らした講演を積極的に行うほか、親子向け情報誌への執筆活動などを通じて、広く金融知識の普及に貢献。

〔団体の部〕

1. 埼玉県立大宮商業高等学校
(埼玉県)
 - ・生徒に対し金融の基礎についての講義を行った後、地元銀行や大学からの指導・助言を受けつつ、生徒に自前で教材を作成させ、小・中学校で金融教室を実施させるなど、独自の金融教育の実践に取り組んでいる。
2. 米子松蔭高等学校
(鳥取県)
 - ・産官学と金融機関による組織に参加し、生徒がビジネスプランの考案、資料の作成、発表を行うほか、バーチャル株投資取引などを体験し、投資結果を発表、原因分析を行うなど、地域と連携し、各分野の外部講師を積極的に活用しつつ、金融教育の実践に取り組んでいる。
3. 大洲市立白滝小学校
(愛媛県)
 - ・税務署職員や金融広報アドバイザーを招いての講演会等の実施やお小遣いの使い方についての指導、貯金日を設定しての貯蓄推奨のほか、地域のバザー活動への協力など幅広い活動を通じて、金融教育の実践に取り組んでいる。